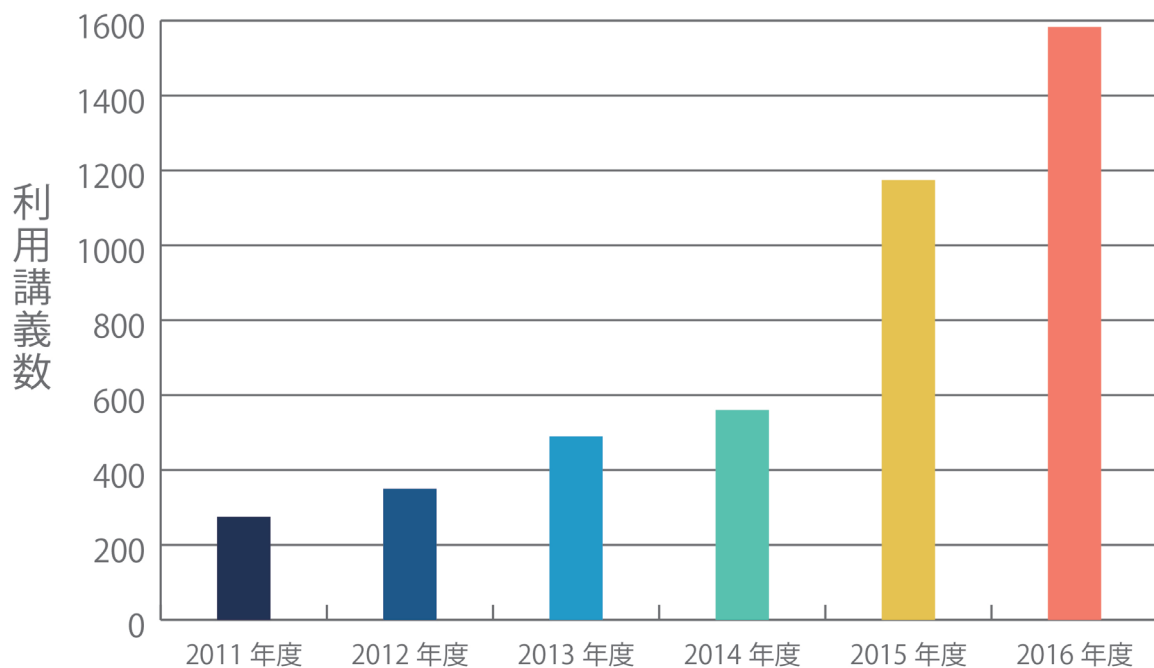




NUCT活用事例集 2017年度春版

今年度よりクォーター制に対応しました。

2015年度よりすべての学部講義が自動登録されています。



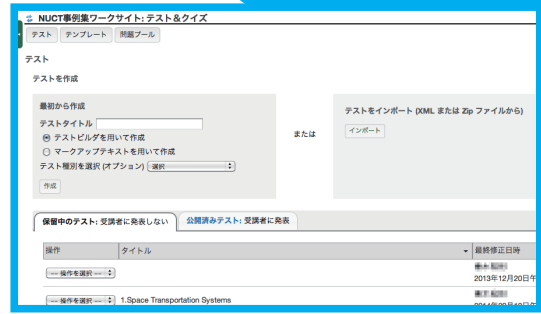
Web 上での説明動画が充実しました。

<https://ct.nagoya-u.ac.jp/>

★NUCTで出席確認をとりましょう

- 現状：
紙による出席確認は、集計に時間がかかります。
- 導入：
テスト&クイズツールを使って、授業に関する簡単な質問を作成。それを学生に回答させることで出席確認を行います（講義中、インターネットが利用できる環境に限ります）。
- 効果：
回答、未回答が一覧で表示されるので出欠確認が容易に行えます。各講義の出席者数、各学生の出席状況の把握もでき、個々の学生の履修サポートも行えます。

講義の出席者数、
学生の出席状況が把握できます。



★NUCTで課題やレポートを受け取りましょう

- 現状：
メールによる課題提出はメールの着信が遅れたり、提出メールが他のメールに紛れてしまったりで管理が難しい。
- 導入：
課題ツールに、出したい課題の内容、締切日時、受付レポート形式などを設定して、課題を受講学生に公開。
- 効果：
学生からの課題メール整理が不要になり、課題の提出・未提出が一覧で表示されるので提出状況の把握が容易になります。提出日時の把握も簡単になります。課題ツールで課題の採点も行えます。

課題メール整理が
不要になります。

★NUCTで紙答案をもっと便利に使いましょ

- 現状：
中間テストや最終テストで解答用紙を返却するのに手間取ります。得点のNUCTへの入力も面倒です。
- 導入：
採点済みの解答用紙を複合機でスキャンする紙レポート連携機能を利用します。
- 効果：
答案用紙の学籍番号を認識して、得点がNUCTに自動的に入力されるので転記の手間やミスが少なくなります。学生へは採点済みの解答がPDFファイルとして自動的に返却されるので、講義中に解答用紙を返却する時間が不要になります。（自動採点機能はありません）この機能をご利用希望の方は nuct-admin@ct.nagoya-u.ac.jp までご連絡下さい。

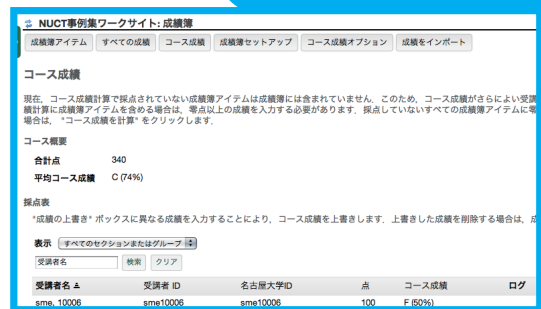
紙のレポートやテストとの連携が
便利になります。



★NUCTで成績を管理しましょ

- 現状：
成績をExcelで入力していますが、管理が面倒です。
- 導入：
成績簿ツールに実施したレポート、テストのタイトルと、それらの点数を入力します。または、課題ツールテスト&クイズツールで学生のレポート、テストを採点し、点数を手動入力します。
- 効果：
既に受講学生データが登録されているため入力漏れがなく、自動的に点数の集計と成績付けが行われるため、成績の計算間違いがなくなります。Excelファイルに出力してダウンロードすることもできます。

成績の計算間違いが
なくなります。



★NUCTで講義テキストや確認テストなどを組み合わせて教材を作成しましょう

講義資料、課題、テストをまとめて提示できます。

●現状：

講義の進捗に合わせて、章単位や週単位の学習教材で構成された Web ページを表示したいのですが、各ツールで作成したテストや課題を、学習の流れに沿って提示することができません。

●導入：

レッスンビルダーは、学習素材を組み合わせて教材を制作するツールです。レッスンビルダーツールは、サイト情報のツール編集ページで追加することができるようになりました。テキストページあるいは HTML ページ、リソースにアップロードしたコンテンツ、課題、テスト等をリンクやボタンで構成された、1 回分の講義ページが作成できます。

●効果：

講義資料、課題、テストを、それぞれのツールに移動することなく、提示することができるようになります。

★NUCTから動画ファイルを視聴できるようにしましょう

●現状：

授業に関連する動画を受講生に見せるために、外部の動画配信サービスを利用しています。

●導入：

NUCT と連携した学内の動画配信サービスを利用できます。50MB までの動画ファイルなら、NUCT 上にアップロードすることもできます。

●効果：

動画の視聴を学内者や授業受講生に限定できるようになります。動画コンテンツを外部のサービスに預ける必要がなくなります。動画配信サービスについては <http://studio.media.nagoya-u.ac.jp/> をご覧ください。

NUCT 受講者だけの視聴もできます。



そのほかにこんな使い方も ...

●連絡事項のアナウンス：

ネットワーク上で確実にアナウンスができます。部局掲示板とは違い、受講生に対して直接告知ができるので、登校する機会が少ない学生にも告知ができます。

●講義ページの作成：

講義用 Web ページが簡単に作成でき、再編集も簡単に行えます。一般に公開したくないページについては、受講生だけ閲覧可能という設定もできます。

●講義資料のアップロード：

学生が各自ダウンロードして、好きな時にスライド資料を見ることができます。アップロードしたファイルの管理も簡単に行えます。

●試験の実施：

自動採点機能を利用することで採点する手間が省け、採点間違いも無くなります。成績簿ツールでの得点管理ができます。Excel 形式での試験結果のダウンロードも行えます。

●アンケートの実施：

簡単に Web アンケートが作成でき、選択形式の問題については回答結果の集計が自動的に行われるので集計作業不要です。結果を Excel に書き出すこともできますので、取りまとめも迅速にできます。

●メッセージの送信：

メールアドレス管理の煩わしさが消え、学生へのメール送信漏れの心配も無くなり、学生との連絡をスムーズに行うことができます。

スマートフォンやタブレットでも、NUCT は利用可能です

iPhone や Android 端末で NUCT にアクセスすると専用画面が表示され、より手軽に NUCT を利用して頂くことができるようになりました。(一部の機能のみ対応)



- Q. NUCTにログインできません。どうしたら良いですか。
- A. NUCTにログインするには、名古屋大学 ID およびパスワードが必要です。不明の場合は、情報連携統括本部情報推進部情報基盤課（共同利用担当）（情報基盤センター1F窓口、内線：4354）へお問い合わせください。なお、IDパスワードの通知は、窓口で手渡しましたは学内便での対応になります。
- Q. NUCTを講義で使いたいのですが、利用申請をするにはどうすればよいですか。
- A. 学部の全ての講義が登録されていますので、ログインすればいつでも利用できます。
- Q. 大学院の講義でも利用できますか。
- A. 利用できます。NUCTのトップページの「講義での利用申請」に記載された必要事項をご記入の上、メールでお申し込みください。
- Q. 学部の全講義が自動登録されるとはどういうことですか。また、講義に使用しなければならないでしょうか。
- A. 学部の講義については、個別に利用申請しなくても、教務システムと連携し全講義のコースが自動的に作成され受講生が登録された状態になります。講義での使用は必須ではありません。お試してもご利用いただけます。
- Q. 次年度の授業の準備をしたいのですが、学部の講義のコースは、いつ登録されるのですか。
- A. 3月20日頃の予定です。受講生情報が登録されるのは、4月以降になります。
- Q. 教務システムと受講生情報は連携していますか。
- A. 教務システムで履修登録された学生のリストから、NUCTの講義コースに学生ユーザの登録をしています。
- Q. TAを講義コースに登録するにはどうすればよいですか。
- A. 「サイト情報」ツールに移動して「参加者の追加」からTAの名古屋大学IDを一人一行ずつ入力し、続いて、参加者のロールを「Teaching Assistant」に設定すると完了です。
- Q. 講義コースのアクセスログを見ることはできるでしょうか。
- A. 講義コースごとに「訪問者」「アクティビティ」「リソース」の各ログを閲覧することができます。「サイト情報」ツールに移動して「ツールを編集」のリストから「統計」ツールを追加してください。
- Q. NUCTについて、もっと知りたくなりました。
- A. NUCTのトップページには、様々な案内があります。<https://ct.nagoya-u.ac.jp/> にアクセスしてみましょう。
- Q. 講習会はありますか。
- A. 例年3月、9月に実施しています。教職員の方には開催通知をメール等でご案内しています。また、各部署での出張講習会、10分間説明なども受け付けています（nuct-admin@ct.nagoya-u.ac.jp）。講習会資料もNUCTホームページからダウンロードできます。
- Q. 講義を受けている学生にメールを送ることはできますか。
- A. 講義コース内の「メッセージ」ツールを使えば、学生のアドレスを知らなくても、受講者一覧から宛先を選択するだけで、学生へメールを送ることができます。

全学メールを利用するよう
ご指導ください。
全学メールについては
こちらをご覧ください。

<https://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/zengakumail/>

NUCTはNUportalと連携しています